

医療に関わる管理栄養士・栄養士に必要なガイドライン等

UP to DATE

(旧医療事業部のしおり)

平成 29 年 6 月

公益社団法人日本栄養士会
医療事業部

(目次)

はじめに.....	1
公益社団法人日本栄養士会医療事業部企画運営委員長 石川 祐一	
改名理由、目的.....	2
各種ガイドライン	3
参考図書.....	6
付属資料	
協議会発足とあゆみ付.....	付 1
食事療法学会・セミナーのあゆみ.....	付 9
政策課題への取り組み	付 15
医療事業部会員数の推移.....	付 17
編集後記	

はじめに

当時一般社団法人であった日本栄養士会は、平成 17 年から各職域を政策集団と位置づけ、各々の抱える諸問題を共有しながら、管理栄養士、栄養士の社会的地位向上への対応を図るべく活動を開始してきました。当時の全国病院栄養士協議会はその活動を活性化させるべく諸先輩方の様々な取り組みを行い、実績を上げてまいりました。

そして平成 24 年からは日本栄養士会は公益社団法人となり、全国病院栄養士協議会は医療事業部と名称を変え、活動は政策活動のみならず、広く会員外の管理栄養士、栄養士にとっても有益な研修会等の開催に至っています。

平成 28 年度診療報酬改定では、長く見直しがされなかった栄養食事指導の点数の評価見直しや対象疾患の拡大が行われました。これもひとえに会員の方々の協力のおかげであるとともに、管理栄養士が築きあげた研究、論文が少しずつ蓄積され、その効果を示すことができるようになったその成果ではないかと考えます。

これらの成果を出すためには、各々の医療領域においてどのような考え方をもとにどのようなガイドラインが示されているのかを知ることも大変重要なことと思います。そこでこれまで親しんできた「医療事業部のしおり」を今年から名称を「UP to DATE」とし各学会が出しているガイドラインを引用、抜粋し広く全国の管理栄養士、栄養士に情報提供することといたしました。一部これまで掲載していた医療事業部の活動等の情報を残しつつ新たな情報収集の為のツールとしていただければ幸いです。

また、情報伝達の媒体の多くが電子化されていることから、「UP to DATE」についても冊子での配布ではなく、日本栄養士会ホームページから閲覧、ダウンロードできる体制としました。「要点がひと目でわかる」医療事業部「UP to DATE」を多くの管理栄養士の参考資料となることを期待しております。あわせて医療事業部の歴史についてもご一読頂ければ幸いです。

「UP to DATE」の作成にご尽力いただいた企画運営委員の皆様に感謝申し上げ、挨拶といたします。

(公社)日本栄養士会医療事業部
企画運営委員長
石川 祐一

改名理由

以前、会員の皆様方に冊子として郵送しておりました「医療事業部のしおり」ですが、ホームページの充実と共にスピーディーに情報をお届けするために、この度「UP to DATE」と名称変更し新たに出発することになりました。

「UP to DATE」の目的

栄養・医療は目覚ましい進展をしています。医療事業部の会員にいち早く情報を届け(学会HP、新書等)、会員各位が必要な情報を取得できるようにします。具体的には学会やガイドライン等のアクセス先を示し、情報提供することとします。

各学会 ガイドライン

ガイドライン名: 糖尿病治療ガイド 2016-2017 (抜粋)

発行学会: 日本糖尿病学会

発行年: 2016 年 6 月

URL: http://www.jds.or.jp/modules/education/index.php?content_id=11

価格: 864 円 (税込)

概要: 国内外の最新エビデンスを反映した診療ガイドライン。臨床現場での利便性を高めるため Clinical Question (CQ) 方式を採用。新規治療薬や新たな診療機器の登場等、飛躍的な進歩を遂げる糖尿病診療を網羅し、また糖尿病性腎症病期分類や妊娠中の糖代謝異常と診断基準の統一化、高齢者糖尿病の血糖コントロール目標値の検討といった新知見も盛り込んでいる。

ガイドライン名: *H. pylori* 感染の診断と治療のガイドライン 2016 改訂版について

発行学会: 日本ヘリコバクター学会

発行年: 2016 年 8 月

URL: <http://www.jshr.jp/journal/>

価格: 1620 円 (税込)

概要: 日本ヘリコバクター学会では、『*H. pylori* 感染の診断と治療のガイドライン 2016 改訂版』が発行された。今回の改定版は、2013 年に、*H. pylori* 感染胃炎への除菌治療が保険適用に拡大され、*H. pylori* 菌を撲滅して胃癌予防に結びつける基盤が整い、7 年ぶりのガイドライン改訂になった。新たなエビデンスに基づいて適応、診断、治療について改訂を行い、提言として胃癌予防の項目が加わっている。

ガイドライン名: 日本腎臓学会発作成の診療ガイドライン

「腎疾患患者の妊娠: 診療ガイドライン 2017」

発行学会: 日本腎臓学会

発行年: 2017 年

URL: <https://www.jsn.or.jp/guideline/guideline.php>

概要:

腎疾患をもつ患者が妊娠した場合の診療指針が 2007 年に「腎疾患患者の妊娠・出産の手引き」として発刊されたが、その後、慢性腎臓病の分類が普及し、患者の妊娠等に対する意思決定に際しての基本的な考え方の変化や疾患による薬剤等の変遷があるため新たにガイドラインの作成が必要となった。作成にあたっては十分なエビデンスがない状態ではあったが、現状のコンセンサスに基づき行われた。妊娠高血圧の一般的な事項に関しては 2015 年の日本高血圧学会から詳細な診療指針が示されているので、本書は腎疾患に焦点を絞って、主に腎臓専門医を対象に作成されている。

ガイドライン名: 胃がん治療ガイドライン 第4版

発行学会: 日本胃癌学会

発行年: 2014 年 5 月

価格: 1000 円 + 税

URL: <http://www.jgca.jp/guideline.html>

医療情報: 第5版に向け改訂進む胃癌治療ガイドライン【胃癌学会 2016】

URL:

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/search/cancer/report/201604/546474.html>

概要: 胃手術法の定義を更新し、新しいエビデンスに基づいて腹腔鏡下胃切除術の適応、内視鏡適応拡大治癒切除の条件、化学療法のアプローチなどを改訂した。さらに新項目として、食道胃接合部癌の手術法とリンパ節郭清、手術後のクリニカルパスとフォローアップのモデルを記載、また、切除可能な転移を有する胃癌の治療方針と標準レジメンの適応が困難な化学療法に関してはクリニカル・クエスチョンを設定して回答と解説を加えた。

ガイドライン名: 高血圧治療ガイドライン 2014

発行学会: 日本高血圧学会

発行年: 2014 年 1 月

URL: http://www.jpnsh.jp/guideline_digital.html

価格: 2200 円 + 税

概要: 1. 生活習慣の修正は高血圧予防や降圧薬開始前のみならず、降圧薬開始後においても重要である。

2. 減塩: 減塩目標は食塩 6g/日未満である。

3. 食事パターン: 野菜・果物を積極的に摂取し、コレステロールや飽和脂肪酸の摂取を控える。魚(魚油)の積極的摂取も推奨される。

4. 減量: 体格指数(BMI: 体重(kg)÷[身長(m)]²) 25 kg/m² 未満が目標であるが、目標に達しなくとも、約 4kg の減量で有意の降圧が得られる。

5. 運動: 有酸素運動を中心に定期的に(毎日 30 分以上を 目標に)運動を行う。

6. 節酒: 節酒を行う。

7. 禁煙: 禁煙の推進と受動喫煙の防止に努める。

8. その他: 防寒や情動ストレスの管理などを行う。

9. 複合的な生活習慣修正はより効果的である。

ガイドライン名: 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年版

発行学会: 日本骨粗鬆症学会

発行年: 2015 年 6 月

URL: <http://www.josteo.com/ja/guideline/index.html>

概要: 超高齢化を背景に、わが国の骨粗鬆症患者は 1,300 万人を超え、今なお増加の一途をたどっている。

2011 年版刊行以降、本領域における重要な基準の改訂が相次いだこと、また、複数の新規薬剤や既存薬の新たな剤形が登場したことから、2011 年版を改訂し 2015 年版を刊行した。

ガイドライン名: 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版 2012 年追補

ダイジェスト版(PDF)

発行学会: 日本痛風・核酸代謝学会

発行年: 2012 年 11 月

URL: <http://www.tukaku.jp/guideline/>

価格: 500 円＋税

概要: 生活習慣と痛風 米国で 2004 年に Choi らは 4 万 7,150 人の痛風の既往のない男性を対象に 12 年間の前向きコホート研究を行っている。

対象集団で 730 人が痛風を発症したが、緒言 緒言 さまざまな生活習慣が痛風発症に関連することを改めて示し、痛風が生活習慣病であることを明確に位置 緒言 づけた。特に、肉類摂取量が多い、アルコール摂取量が多い、砂糖入りソフトドリンク摂取量が多いなどは痛風発症を増加させ、逆に、乳製品摂取量が多い、コーヒー摂取量が多い、などは痛風発症を低下させることも明らかになった。

尿酸値は 7.0mg/dL 以下に調整する必要がある。

医療従事者に役立つサイト

ガイドライン・診断基準が探せる **MedicalTribune**

URL: <https://medical-tribune.co.jp/news/2016/guideline/>

概要: 各種ガイドラインや学会の予定などの情報が得られます

参考図書

一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック 単行本

- 2017/2/27 [一般社団法人日本静脈経腸栄養学会](#) (編集)南江堂 5400 円

一般社団法人日本静脈経腸栄養学会認定 NST 専門療法士は新たに臨床検査技師や
歯科衛生士なども受験対象者となり,臨床栄養の担い手として定着している。

本書は静脈経腸栄養のガイドラインに準拠,NST の新手法,新栄養剤,基準・法律など
の改正を盛り込んだ,NST 専門療法士をめざすスタッフ必携の一冊。

臨床栄養認定管理栄養士のためのガイドブック

監修:鈴木壺知・丸山道生・藤谷順子・石川祐一

日本栄養士会生涯教育実務研修受講者及び受験者必携

東京医学社 2800 円+ 税



病態栄養認定管理栄養士のための病態栄養ガイドブック(改訂第 5 版)

単行本 - 2016/5/31 [日本病態栄養学会](#) (編集) 4104 円

ESSENSE 日本外科代謝栄養学会周術期管理改善プロジェクト

日本外科代謝栄養学会

URL: <http://www.jsmmn.jp/essense/index.html>

周術期、身体も心も早期に回復するためのエッセンス

日本外科代謝栄養学会の周術期 管理ワーキンググループメンバー が ERAS の中身を吟味し、ESSENSE プロジェクトとして、分かりやすく解説。

定価 1,500 円(本体 1,429 円+税) +送料 80 円

<注文書送付先> 日本外科代謝栄養学会 〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12
新宿ラムダックスビル 9 階 (株)春恒社 学会事務局内 TEL: 03-5291-6231

FAX: 03-5291-2176 E-mail:jsmmn@shunkosha.com ESSENSE

「ESSENSE 日本外科代謝栄養学会周術期管理改善プロジェクト」(発行:日本外科代謝栄養学会 周術期管理ワーキンググループ 日本外科代謝栄養学会 事務局)からの一部抜粋を編集しています。これは周術期の管理方法について解りやすく記載された著書となっています。管理栄養士・栄養士にとって興味深い箇所を抜粋しております。表題のみ掲載している箇所もあります。より深く勉強したい方はお取り寄せいただき自己研鑽につなげていただければ幸いです。

Contents 一部抜粋

第1章 ERAS と ESSENSE

第 2 章 生体侵襲反応軽減策

2-2 絶飲食回避による効果

2-4 免疫栄養成分による術後炎症反応の修飾

第 4 章 栄養摂取の早期自立

4-早期腸管使用の効果

4-早期経口摂取のための状況整備

第 6 章 ESSENSE の運用、多職種での分担

第1章 ERAS と ESSENSE

ERAS と略される術後回復強化策、Enhanced Recovery After Surgery は、エビデンスのある管理法を選択して、これまでの慣習にとらわれずにひとつひとつの方法を検証し、これを組み合わせたバンドル、いわば早期回復のための「周術期管理パッケージ」。

ERAS の問題点

ESSENSE とは？

ESSENSE では、なにを推奨するのか？

1. 生体侵襲反応の軽減
2. 身体活動性の早期自立
3. 栄養摂取の早期自立
4. 周術期不安軽減と回復意欲の励起

各施設現行の周術期管理よりも、これらが改善されていけば自ずと患者さんの回復は早まり、より早く健常な日常生活に、戻れると考え、ESSENSE プロジェクトでは、敢えて ERAS のような具体的介入策を推奨するのではなく、この目指すべき 4 つの状態、「方向性」をまずは推奨している。

第2章 生体侵襲反応軽減策

2. 絶飲食回避による効果

絶飲食の弊害

患者さんへの負担

口渇・空腹感の増強、緊張や不安を生じる要因

輸液療法による行動制限

医療従事者への負担

輸液ルート確保準備および監視業務

我が国ガイドラインの特徴

2012 年 7 月に公益社団法人日本麻酔科学会（以下、日本麻酔科学会と略）から「術前絶飲食ガイドライン」が公表された。飲料に関しては、諸外国と同様に清澄水であれば、「どんな年齢でも手術 2 時間前まで安全である」とした。

絶飲食の回避による効果

炭水化物摂取を継続できる

水分および電解質を摂取できる

安静を強要させない

看護師への負担を軽減させる

輸液関連のインシデントが減る

術前飲料はどの清澄水を選択するか？

清澄水 (Clear fluids) を目的に応じた選択を行う。その目的は、①口渇感、空腹感の軽減、②術後のインスリン感受性低下の抑制、③水分・電解質の補給。

ESSENSE プロジェクトでは、可能な限り術前輸液を廃止し、術前に清澄水を摂取させ、術前の絶飲食期間を短縮させる事を推奨する。

4. 免疫栄養成分による術後炎症反応の修飾

なぜ炎症反応の調節が必要か

免疫栄養とは

免疫栄養素 (immunonutrients)

免疫増強栄養剤

免疫栄養製剤には、周術期の投与で術後感染性合併症の減少、在院日数短縮効果があることが確かめられているものもある。大侵襲の待機手術患者に対して、特に術前から低栄養を伴う場合、周術期の免疫増強経腸栄養製剤投与は良い適応になり得る。

免疫調整栄養剤

免疫栄養の新しい考えに基づいた臨床研究とその結果

どうやって免疫栄養を臨床の現場で利用していくべきか

第4章 栄養摂取の早期自立

早期腸管使用の効果

「なぜ腸管を使うことにこだわるのか」、それを理解することの意義

腸管利用による感染性合併症減少のエビデンス

早期腸管使用による感染防御能の改善

- ① バクテリアルトランスロケーションのコンセプト出現による大転換
- ② 腸管内の細菌叢
- ③ 腸管のバリア機能
- ④ 腸管のバリア機能への栄養投与ルートの影響
- ⑤ 腸管以外の感染防御能への栄養投与ルートの影響

早期腸管使用のすすめ

早期経口摂取のための状況整備

ERAS でも、「周術期過剰輸液の回避」、「術後嘔気嘔吐対策の定型化」、「術後腸管運動促進」があり、そのうえで「術後早期の経口あるいは経腸栄養開始」が推奨されている。

周術期過剰輸液の回避

術後嘔気嘔吐 (postoperative nausea and vomiting: PONV) 対策の定型化

腸管運動回復促進

硬膜外麻酔の有効利用

第 6 章 ESSENSEの運用、多職種での分担

ESSENSEの原則は分かった！そしてどうする？

介入よりも評価

評価の具体例

身体活動性の早期自立に関する評価

周術期不安軽減と回復意欲の励起に関する評価

多職種での共同作業

外科系医師、麻酔科医、集中治療医、手術部看護師、ICU 看護師、病棟看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など、その術式に関連した部署のスタッフが一同に会して話し合う場を設定する必要があるよう参加すべき。

どこまで早くなれば良いのか？

医療者の満足でなく、患者さんの満足のいく身体的、精神的改善成果をみつめ改善努力ができる組織になること、「現状よりも改善する」ことが ESSENSE では大切と考えている。

付属資料

医療事業部（旧：全国病院栄養士協議会）の発足と活動のあゆみ

◎昭和 57 年度

57.	11.12(金)	仮称「明日の医療部会を語る会」開催（日本栄養士会に対する申し入れ決定）
	11.22(月)	医療部会長から日本栄養士会長に意見書提出（日本栄養士会内に病院栄養士の新会設立の件）
	12.11(土)	日本栄養士会緊急部長会（医療部会からの申し出検討・承認）
	12.13(月)	日本栄養士会長回答文書（病栄協設立承認の件）
58.	1.13(木)	病栄協設立発起人会準備会（全国関係者、竹橋会館）
	1.14(金)	第2回「明日の医療部会を語る会」（病栄協設立発起人会）（設立準備委員・起草委員決定）
	2. 5(土)	日本栄養士会理事会（病栄協承認される）
	2.26(土)	～27(日) 日本栄養士会評議員会（病栄協承認される）
	3.12(土)	～13(日) 第2回食事療法学会（東京・日本教育会館）
会員に病栄協の件報告・承認を得る。カンパ 389,000 円		

◎昭和 58 年度

58.	4.14(木)	医療部会拡大委員会（病栄協第1回理事会）
	6.10(金)	～11(土) 日本栄養士会第 24 回通常総会（青森）で病栄協正式承認される
59.	3.10(土)	～11(日) 第3回食事療法学会（京都・国立京都国際会館）

◎昭和 59 年度

59.	7.20(金)	医療法に定める給食施設設置義務の存続強化要望書提出
	8.21(火)	医療職俸給表（二）適用栄養士の処遇改善についての要望書および患者給食業務直営原則見直しに対する意見書提出
59.	11.21(水)	社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望書提出
	3. 9(土)	～10(日) 第4回食事療法学会（千葉・千葉県教育会館）

◎昭和 60 年度

60.	12.16(月)	厚生省関係部局および関係団体へ「社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望」および「医療法改正に伴う同法施行規則の一部改正にかかわる要望」等の提出・説明
61.	3. 8(土)	～9(日) 第5回食事療法学会（愛知・名古屋港湾会館）

◎昭和 61 年度

61.	4. 8(火)	病院給食委託化問題に関する病栄協関係資料の提出および病栄協関係の資料の提出（社）日本病院会給食委員会への病栄協役員の推薦
	4. 9(水)	病院給食委託化問題についての陳情
	4.29(火)	緊急全国代表者会議（委託化問題）
	5.26(月)	栄養士法および栄養改善法に関しての要望（厚生省保健医療局長宛）
	12. 4(木)	社会保険診療報酬に関する要望、四病団体病院給食委託研究会
62.	2.16(月)	病院栄養部門機能の強化等の要望（厚生省）
	3.14(土)	～15(日) 第6回食事療法学会（群馬・水上館）
	3.19(木)	～20(金) 入院食費の患者負担問題について懇談（厚生省幸田事務次官外）

◎昭和 62 年度

62.	4. 3(金)	厚生省国民医療総合対策本部との懇談
	5.14(木)	厚生省国民医療総合対策本部との懇談
	7.13(月)	厚生省国民医療総合対策本部との懇談
	8.21(金)	厚生省国民医療総合対策本部中間答申への要望
	10.12(月)	社会保険診療報酬点数改正の要望
	10.19(月)	基準給食制度について厚生省と懇談
63.	3. 1(火)	社会保険診療報酬点数改正内容について、厚生省医療課と懇談
	3.19(土)	～20(日) 第7回食事療法学会（兵庫・西山記念会館）

3.22(火)	病院給食委託業者の公益法人設立問題について、厚生省指導課と懇談 特別注文食の運用について厚生省医療課と懇談
◎昭和 63 年度	
63.	8.25(木) 厚生政務次官等へ入院老人食費の一部自己負担化に関する意見書提出 9.14(水) ～22(木) 老人入院患者の食費負担問題について、老人保健審議会委員に要望 9 ～12 月 老人保健審議会委員へ入院老人食費の一部自己負担に関する意見書提出 元. 3.17(金) ～18(土) 第 8 回食事療法学会（神奈川・箱根小涌園） 3.30(木) 厚生省健康政策局指導課長と懇談
◎平成元年度	
元.	6. 7(水) 厚生省保険局医療課と「基準給食見直し案」について懇談 6.21(水) 自民党の「医療政策研究会」に参加 9.11(月) 「社会保険診療報酬に関する要望」について、厚生省保険局医療課と懇談 10.11(水) 「社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望書」を厚生省医療課へ提出 11.13(月) 「基準給食制度見直しに関する要望書」を厚生大臣・厚生省保険局長・医療課長・健康増進栄養課長へ提出 12.16(土) 「医療法改正にかかわる要望書」を厚生省健康政策局長・総務課長・指導課長・健康増進栄養課長へ提出 2. 1.22(月) 「病院給食センター化・食費自己負担反対意見書」を厚生省大臣官房審議官・指導課長・総務課長・健康増進栄養課長へ提出 3.10(土) ～11(日) 第9回食事療法学会(熊本・熊本県立劇場)
◎平成 2 年度	
2.	12. 7(金) 「社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望書」を厚生省医療課長・健康増進栄養課長へ提出 3. 3. 9(土) ～10(日) 第 10 回食事療法学会(三重・四日市市文化会館)
◎平成 3 年度	
3.	4. 5(金) 第 23 回日本医学会総会にシンポジスト等を派遣、多数の会員が参加 10. 8(火) 「患者給食費自己負担反対要望書」を厚生省保険局長・医療課長・健康増進栄養課長へ提出 10.21(月) 「社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望書」を厚生省医療課長・健康増進栄養課長へ提出 4. 2.24(月) 「社会保険診療報酬の改訂」の詳細について、厚生省医療課・健康増進栄養課・大臣官房審議官と懇談
◎平成 4 年度	
4.	7.11(土) 「医療法改正にかかわる要望書」を厚生省健康政策局総務課長・健康増進栄養課長・衆議院厚生委員会・医療審議会へ提出 11.13(金) 「病院給食施設に関する意見書」を厚生省健康政策局総務課長・健康増進栄養課長・医療関連サービス基本問題検討委員会座長へ提出 「社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望書」を厚生省医療課長・健康増進栄養課長へ提出 5. 3. 6(土) ～7(日) 第 12 回食事療法学会(徳島・徳島県郷土文化会館) 3.18(木) 「病院給食施設に関する意見書」を医療関連サービス基本問題検討会各委員へ提出 3.25(木) 上記意見書を厚生省指導課医療関連サービス室長・医療基本問題調査会会長に提出
◎平成 5 年度	
5.	4. 8(木) 「『病院食も「おいしさ」追求』の報道内容に対する意見書」を厚生省健康政策局長・指導課長・医療関連サービス室長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出 5.26(水) 「患者給食費自己負担反対に対する意見書」を厚生省保険局長・医療課長・健康増進栄養課長へ提出 9.21(火) 「患者給食費の自己負担拡大に反対し、保険給付による病院給食の充実を求める」署名(569,206

		名)を大内啓伍厚生大臣へ提出 「患者給食費自己負担反対に対する要望書」を厚生大臣、厚生省保険局長・企画課長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出 「病院給食を医療法に基づき病院内の給食施設で提供することを求める」署名(552,029名)を大内啓伍厚生大臣へ提出 「病院給食施設に関する意見書」を厚生大臣、厚生省健康政策局長・指導課長・医療関連サービス室長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出
10.15(金)		「社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望書Ⅰ」を厚生省医療課長・健康増進栄養課長へ提出
12.24(金)		「社会保険診療報酬点数改正にかかわる要望書Ⅱ」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出 「病院給食用米の安定供給に関する要望書」を食糧庁長官・業務部需給課長・厚生省保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出
6.	3. 5(土)	～6(日) 第13回食事療法学会(北海道・札幌市民会館)

◎平成6年度

6.	6.15(水)	「社会保険診療報酬点数改正に関わる要望書」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出
	7.21(木)	「平成6年10月改正社会保険診療報酬の実施に伴う要望書 入院時食事療養(Ⅰ)」を厚生省保険局医療課長・健康増進栄養課長へ提出
	12. 1(水)	「病院栄養部門および栄養士実態調査」の実施を開始
7.	3. 4(土)	～5(日) 第14回食事療法学会(山口・宇部市渡辺翁記念会館)

◎平成7年度

7.	7.13(木)	「医療法改正に関わる要望書」を厚生省健康政策局長・総務課長・指導課長・医療関連サービス室長・保険局医療課長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出 「社会保険診療報酬点数改正に関わる要望書」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出 「医療用食品加算の廃止についての要望書」を厚生省保険局医療課長へ提出
8.	3. 9(土)	～10(日) 第15回食事療法学会(東京・きゅりあん(品川区立総合区民会館))

◎平成8年度

8.	7.23(木)	「医療法改正に関わる陳情書」を自由民主党政務調査会社会部会長・年金問題調査会会長・医療基本問題調査会会長・衆議院議員伊吹文明先生・社会福祉環境関係団体委員長・厚生省保健医療局健康増進栄養課長へ提出
	7.23(木)	「入院時食事療養費における食材料費の消費税負担についての陳情書」を自由民主党政務調査会社会部会長・年金問題調査会会長・医療基本問題調査会会長・衆議院議員伊吹文明先生・社会福祉環境関係団体委員長・厚生省保健医療局健康増進栄養課長へ提出
	10.30(木)	「社会保険診療報酬点数改定に関する要望書」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・健康増進栄養課長へ提出
9.	3. 8(土)	～9(日) 第16回食事療法学会(青森・弘前市民会館)

◎平成9年度

9.	7. 3(木)	「平成9年度医療保険改革についての陳情書」を衆議院議員小沢辰男・熊代昭彦・江藤晟一・住博司・参議院議員今井澄・清水嘉与子・石井道子各先生、医療基本問題調査会長、厚生省地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長、日本医師会長、日本病院会長、全国病院団体連合代表幹事、全国自治体病院協議会長、全日本病院協会会長、全国保険医団体連合会長、日本医療法人協会会長、日本精神病院協会会長、全国公私病院連盟会長、河北総合病院河北博文理事長、放送大学沖縄地域学習センター尚弘子センター長へ提出
	10.22(水)	「遺伝子組換え食品使用表示についての要望書」を農林水産省食品流通局長へ提出

11.11(火)	「社会保険診療報酬改定に関わる要望書」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長へ提出
11.17(月)	「医療法改正に関わる陳情書」を厚生省健康政策局長・総務課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長へ提出
12.18(木)	「介護支援専門員(ケアマネジャー)の養成についての要望書」を医療保険福祉審議会会長・制度企画部会長・運営部会長・老人保健福祉部会長他委員へ提出
10. 2. 6(金)	「中央社会保険医療協議会における審議事項に関する要望書」を中央社会保険医療協議会竹内實・櫻井秀也・上田慶二各委員、厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長、日本医師会長へ提出
3. 7(土)	～8(日) 第17回食事療法学会(鹿児島・鹿児島市民文化ホール)

◎平成10年度

10. 6. 1(月)	「栄養部門実態調査」の実施(2年に1度)を開始
11. 5(木)	「医療保険制度の改革にかかわる陳情書」を厚生省保険局長・企画課長・医療課長・健康政策局長・総務課長・指導課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長・老人保健福祉局長・老人保健課長・自由民主党社会部会長・医療基本問題調査会長・民主党厚生部会医療制度改革小委員会座長・医療保険福祉審議会制度企画部会診療報酬体系見直し作業委員会委員長へ提出
11. 2. 5(金)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長・老人保健福祉局長・老人保健課長・日本医師会長・日本病院会長・全国病院団体連合代表幹事・全国自治体病院協議会長へ提出
2.12(金)	「医療法改正にかかわる陳情書」を厚生省健康政策局長・総務課長・指導課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長・保険局長・医療課長・日本医師会長・日本病院会長・全国病院団体連合代表幹事・全国自治体病院協議会長・日本医療法人協会会長・全日本病院協会会長・日本精神病院協会会長へ提出
2.17(水)	～7(日) 第18回食事療法学会(静岡・静岡市民文化会館中ホール)
3. 6(土)	

◎平成11年度

11. 11.11(木)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長・老人保健福祉局長・老人保健課長・日本医師会長・日本病院会長・全国病院団体連合代表幹事・全国公私病院連盟会長へ提出
1.18(木)	
2. 6(月)	「医療法改正にかかわる陳情書」を厚生省健康政策局長・総務課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長・日本医師会長・日本病院会長・全国病院団体連合代表幹事・医療審議会総会各委員へ提出
2. 8(水)	
1.17(水)	
1.18(木)	
2. 7(火)	
2. 8(水)	
12. 3. 4(土)	～5(日) 第19回食事療法学会(愛媛・愛媛県県民文化会館サブホール)

◎平成12年度

12. 11	11月を“栄養指導推進月間”として活動を展開
12.14(木)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生省保険局長・医療課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長・日本医師会長・日本病院会長・全国病院団体連合代表幹事・全国自治体病院協議会長・全日本病院協会会長・日本医療法人協会会長・日本精神病院協会会長・四病院団体協議会へ提出
13. 1.19(金)	「医療法改正にかかわる陳情書」を厚生省健康政策局長・総務課長・保健医療局長・地域保健・健康増進栄養課長・生活習慣病対策室長・日本医師会長・日本病院会長・全国病院団体連合代表幹事・全国自治体病院協議会長・全日本病院協会会長・日本医療法人協会会長・日本精神病院協会会長・四病院団体協議会へ提出
12. 12.14(木)	
12.15(金)	
13. 1.19(金)	
1.23(火)	
3. 3(土)	～4(日) 第20回食事療法学会(福島・福島県文化センター)

◎平成13年度

13.	10.10(水)	「医療法等にかかわる陳情書」を厚生労働省医政局長・総務課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出
	12.18(火)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働省保険局長・医療課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出
14.	3. 2(土)	～3(日) 第 21 回食事療法学会(福岡・アクロス福岡シンフォニーホール)

◎平成 14 年度

15.	1.29(水)	医療保険制度の体系の在り方「診療報酬体系の見直し」に関する意見を厚生労働省保険局総務課へ提出
	3.20(木)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働省保険局長・医療課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出 「医療法等にかかわる陳情書」を厚生労働省医政局長・総務課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出
	3. 1(土)	～2(日) 第 22 回食事療法学会(岐阜・長良川国際会議場)

◎平成 15 年度

15.	8. 1(金)	「生活習慣病等の重症化に対する予防技術に関わる栄養・食事療法ならびに栄養・食事指導効果について」を厚生労働省医療課長へ提出
	9.25(木)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働省保険局長・医療課長・医政局長・健康局長・生活習慣病対策室長・日本医師会長・日本病院会長・日本医療法人協会会長・日本精神病院協会会長へ提出
	9.30(火)	「『いわゆる給食差益』報道に対する意見書」を厚生労働省保険局長・医療課長・医政局長・経済課長・医療関連サービス室長・健康局長・生活習慣病対策室長・広報室・日比谷クラブ・日本医師会長・日本病院会長・全日本病院協会会長・日本医療法人協会会長・日本精神病院協会会長・全国自治体病院協議会長・日本看護協会会長・日本薬剤師会長・医療関連サービス振興会理事・日本メディカル給食協会会長・「医事新報」・「臨床栄養」へ提出
	12. 4(木)	「医療法等にかかわる陳情書」を厚生労働省医政局長・総務課長・健康局長・生活習慣病対策室長・日本病院会長・全日本病院協会会長・日本医療法人協会会長・日本精神病院協会会長へ提出
	12.17(水)	「生活習慣病および栄養障害の重症化予防に関する栄養士の技術」を診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会にて発表
	12.17(水)	「医療法等にかかわる陳情書」を厚生労働省医政局長・総務課長・健康局長・生活習慣病対策室長・日本病院会長・全日本病院協会会長・日本医療法人協会会長・日本精神病院協会会長へ提出
	12.26(金)	「生活習慣病および栄養障害の重症化予防に関する栄養士の技術」を診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会にて発表
16.	2.28(土)	～29(日) 第 23 回食事療法学会(大阪・大阪国際会議場)

◎平成 16 年度

16.	8.20(金)	「栄養部門の採算性評価の実態調査」ならびに「管理栄養士・栄養士の業務量調査」の実施
17.	2.18(金)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働省保険局長・医療課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出 「医療法等にかかわる陳情書」を労働省医政局長・総務課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出
	2.26(土)	～27(日) 第 24 回食事療法学会(大分・ビーコンプラザ)

◎平成 17 年度

17.	6.28(火)	「医療技術再評価希望書(保険既収載技術用)」を厚生労働省保険局医療課へ提出(日本病院管理学会名)
	10. 3(月)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働大臣・厚生労働省大臣官房審議官(医療保険担当)・保険局医療課長・健康局長・厚生労働大臣官房参事官(社会保険、健康担当)・生活習慣病対策室長へ提出 「医療法等にかかわる陳情書」を厚生労働大臣・医政局長・総務課長・健康局長・厚生労働大臣官房参事官(社会保険、健康担当)・生活習慣病対策室長へ提出
	11.28(月)	「医療構造改革厚生労働省試案への意見」を厚生労働大臣へ提出
18.	1.26(木)	「平成 18 年度診療報酬改定に関する意見」を中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会へ提出
	2.25(土)	～26(日) 第 25 回食事療法学会(神奈川・パシフィコ横浜会議センター)

3.18(土)		病院における栄養管理実施加算中央リーダー研修会を開催(東京・日本赤十字看護大学)
◎平成 18 年度		
18.	5～6	新設された「栄養管理実施加算」に対応するため、全国 7 ブロックにおいて、診療報酬改定全国ブロックセミナーを開催(参加者 10,009 名)
	11.20(月)	「療養病床に入院する高齢者の食費・居住費の負担に対する意見」を厚生労働大臣へ提出 「平成 19 年度予算に関する要望」を自由民主党厚生労働部会・厚生関係団体委員会合同会議へ提出
19.	3.23(金)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働大臣・保険局長・厚生労働省大臣官房審議官(医政、医療保険担当)・医療課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出
	3. 3(土)	～4(日) 第 26 回食事療法学会(岩手・盛岡市民文化大ホール)
◎平成 19 年度		
19.	10.22(月)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働大臣・保険局長・厚生労働省大臣官房審議官(医療保険、医政担当)・医療課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出 「医療法等にかかわる陳情書」を厚生労働大臣・医政局長・厚生労働省大臣官房審議官(医療保険、医政担当)・総務課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出
	11 月	“栄養指導推進月間”を改め“栄養管理推進月間”として活動を展開
20.	3. 8(土)	～9(日) 第 27 回食事療法学会(岡山・川崎医療福祉大学)
	3.16(日)	後期高齢者医療制度と診療報酬改定に関する研修会を開催(東京・日本赤十字看護大学)
◎平成 20 年度		
21.	1.16(金)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働大臣・保険局長・厚生労働省大臣官房審議官(医療保険、医政担当)・医療課長・健康局長・生活習慣病対策室長へ提出
	3. 7(土)	～8(日) 第 28 回食事療法学会(茨城・茨城県民文化センター)
◎平成 21 年度		
21.	7.16(木)	「社会保険診療報酬改定にかかわる要望書」を厚生労働省保険局医療課長・健康局総務課生活習慣病対策室長へ提出
22.	1.5(火)	「平成 22 年度予算、税制に関する要望」を民主党幹事長へ提出
22.	3.6(土)	～7(日) 第 29 回食事療法学会(宮崎・フェニックス・シーガイア・リゾートワールドコンベンションセンターサミット)
◎平成 22 年度		
23.	1.28(金)	「医療保険・介護保険に関する要望」を厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室室長・社団法人日本医師会会長へ提出
23.	3.12(土)	～13(日) 第 30 回食事療法学会(石川・石川県立音楽堂)中止 ※東日本大震災により
◎平成 23 年度		
23.	4.28(木)	「平成 24 年度診療報酬改正および税制改正に関する要望」日本医師会常任理事へ提出
23.	7.28(木)	「平成 24 年度診療報酬改定に関する要望書」を厚生労働省保険局長・保険局医療課長へ提出
	8 月	細川律夫厚生労働大臣宛 チーム医療推進に関する要望書をチーム医療推進協議会として提出
	8.16(火)	厚生労働省保険局 外口 崇平局長宛 24 年度診療報酬改定に関する要望書(チーム医療推進に関して)をチーム医療推進協議会として提出
23.	10.8(土)	「平成 24 年度診療報酬改正および税制改正に関する要望」を民主党福岡県総支部連合会へ提出
23.	10.13(木)	「栄養管理実施加算包括化反対」に対する要望をチーム医療推進協議会代表へ提出
23.	11.9(水)	「栄養管理実施加算に関する意見」を厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室室長へ提出

23.	11.21(月)	「チーム医療推進に向けた管理栄養士の役割について」を民主党 チーム医療小委員会委員長へ提出
24.	3.10(土)	～11 日(日) 第 31 回食事療法学会(東京・帝京平成大学・沖永記念ホール) 厚労省に対し病棟管理栄養士制度創設に対する要望を関連学会連名にて提出

◎平成 24 年度

24.	5.18(金)	厚生労働省からの「栄養管理実施加算包括化に伴う管理栄養士確保に対する要請依頼」受け入れ
	5.19(火)	日本医師会へ「栄養管理実施加算包括化に伴う管理栄養士確保に対する協力体制」について協力申し入れ
	9.7(金)	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課との打ち合わせ
25.	3.2(土)	～3(日)第 32 回食事療法学会(長野・軽井沢プリンスホテル ウェスト メインバンケットホール長野
	3.8(金)	経済産業省が取り組むヘルスケア産業振興についての意見交換
	3.18(月)	中央社会保険医療協議会診療報酬改定結果検証に関わる調査委員会参加

◎平成 25 年度

25.	5.15(水)	日本動脈硬化学会理事、医療・保険委員会委員長と「管理栄養士・栄養士の業務」に対する意見交換
	5.16(木)	「病棟管理栄養士制度の創設に関する要望書の提出にかかるお願い」を特定非営利活動法人日本栄養改善学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、一般社団法人日本健康・栄養システム学会、日本静脈経腸栄養学会、一般社団法人日本糖尿病学会、一般社団法人日本動脈硬化学会、一般社団法人日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会へ提出
	5.24(金)	厚生労働省栄養指導室との打ち合わせ
	6.14(金)	厚生労働省栄養指導室との打ち合わせ
	6.21(金)	全国保険医団体連合会 住江 憲男 会長他 2014 診療報酬改定「栄養管理実施加算包括化に伴う管理栄養士配置対応」に向けた保団連要求(案)に対する意見交換
	6.26(水)	厚労省チーム医療推進方策 WG 参考人出席
	8.26(月)	厚労省チーム医療推進方策 WG 参考人出席
	9.26(木)	厚労省チーム医療推進方策 WG 参考人出席
	10.1(火)	「食事療養費自己負担の増額に関する意見」を表明(ホームページ、雑誌他)
	12.5(木)	厚労省チーム医療推進方策 WG ヒアリングにて管理栄養士業務拡大要望
	12.12(木)	日本医師会鈴木常任理事との面談
	12.18(水)	病態栄養学会清野理事長との面談
26.	3.8(土)	～9 日(日)第 33 回食事療法学会(長崎・長崎ブリックホール) 中医協平成 25 年度医療評価技術提案書(COPD 患者の栄養指導料新設)を日本呼吸器療法学会等と共同提案

◎平成 26 年度

26.	4.14(月)	厚生労働省保険局保健課に対し「食事療養費自己負担増」に対する意見書提出
	5.14(水)	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課栄養指導室との情報交換
	5.28(水)	厚生労働省保険局保健課に対し「食事療養費自己負担増」に対する資料提出 健康局がん対策・健康増進課栄養指導室との情報交換
	6.26(木)	公明党山口那津男代表宛チーム医療推進協議会として要望書提出
	9.25(木)	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課栄養指導室との情報交換
	7.25(金)	「食事療養費自己負担に対する当会の考え方」を日本医師会へ提出
26.	9.29(月)	厚生労働省第 14 回チーム医療推進方策検討ワーキンググループ(関係団体からの各要望事項) 参考人として出席
	11.12(水)	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課栄養指導室との情報交換

12.3(水)	厚生労働省武田俊彦大臣官房審議官(医療保険担当)、唐澤剛保険局長に診療報酬の要望(病態栄養学会と連携)
---------	---

◎平成 27 年度

27.	6.18(木)	厚生労働省唐澤剛保険局長、宮寄医療課長宛診療報酬要望書提出
	8.7(金)	中央保険医療協議会、医療技術小委員会要望ヒアリング(病態栄養学会連携)
	8.25(火)	厚生労働省栄養指導室訪問(病態栄養学会連携)健康局がん対策・健康増進課栄養指導室との情報交換
		厚生労働省唐澤剛保険局長、武田審議官要望書提出(病態栄養学会連携)
	9.3(木)	栄養士議員連盟役員会における要望書提出
	10.26(月)	厚生労働省訪問(塩澤、芳賀面談)
	11.4(水)	中央保険医療協議会傍聴 厚労省
	11.18(水)	自民党「予算・税制に関する政策懇談会」
	12.7(月)	厚生労働省訪問(河野、芳賀、塩澤)： 病態栄養学会連携
	12.14(月)	厚生労働省訪問：人材育成(摂食嚥下)に関する打ち合わせ
	12.16(水)	厚生労働省チーム医療推進方策WG参考人として参加
	12.21(月)	古川参議院議員訪問、経腸栄養剤等に対する意見提出
28.	2.10(水)	中央保険医療協議会傍聴
		厚生労働省訪問(病態栄養学会連携)診療報酬御礼
	2.17(水)	老健課長補佐
	3.7(月)	厚生労働省訪問(診療報酬御礼)
		厚生労働省訪問栄養指導室打ち合わせ

◎平成 28 年度

28.	4.8(金)	平成 30 年度診療報酬改定に関する打ち合わせ
	5.14(土)	厚生労働省保険局保険課と食事療養費自己負担増に対する面談
	5.20(金)	〃
	11.7(月)	厚生労働省保険局医療課塩澤信良課長補佐と面談

食事療法学会・セミナーのあゆみ

◎食事療法学会年表

回次	開催期間	開催場所	テーマ	学会長
第1回	昭和57年3月6～7日	東京:こまばエミナース	臨床栄養充実のために	—
第2回	昭和58年3月12～13日	東京:日本教育会館	臨床栄養充実のために	
第3回	昭和59年3月10～11日	京都市:国立京都国際会館	—	森田英子
第4回	昭和60年3月9～10日	千葉市:千葉県教育会館	—	鈴木啓二
第5回	昭和61年3月8～9日	名古屋市:名古屋港湾会館	食の倫理と実践	亀谷和
第6回	昭和62年3月14～15日	群馬県:水上館	食事療法の進路	福島志津子
第7回	昭和63年3月19～20日	神戸市:西山記念会館	あしたを拓く ^{ひらく} 医と食	坂本孝子
第8回	平成元年3月17～18日	神奈川県:箱根小涌園	誇りある食の指導者をめざして	佐藤富美子
第9回	平成2年3月10～11日	熊本市:熊本県立劇場	—	奥村玲子 (守田治美)
第10回	平成3年3月9～10日	四日市市:四日市市文化会館	治療食に光を! アメニティに創造を!	中村千輝
第11回	平成4年3月7～8日	新潟市:新潟県民会館	真の臨床栄養を求めて、21世紀への飛躍	風間芳男
第12回	平成5年3月6～7日	徳島市:徳島県郷土文化会館	未来へつなげ“医療における食・文化”	原田満智子
第13回	平成6年3月5～6日	札幌市:札幌市民会館	きこえますか ^{いのち} 鼓動が・みえますか ^{いのち} 生命の炎が	相馬愛子
第14回	平成7年3月4～5日	宇部市:宇部市渡辺翁記念会館	今、語ろう日本病院栄養士の未来	石田睦恵
第15回	平成8年3月9～10日	東京:きゅりあん (品川区立総合区民会館)	求めよう! 専門性と心の豊かさ	藤本信子
第16回	平成9年3月8～9日	弘前市:弘前市民会館	縄文の里から —21世紀へのアプローチ—	駿河盛
第17回	平成10年3月7～8日	鹿児島市:鹿児島市民文化ホール	医食同源—語ろう 今・未来—	立川俱子
第18回	平成11年3月6～7日	静岡市:静岡市民文化会館	集え、ふじの国へ! めざせ医と食の専門性を	大川知子
第19回	平成12年3月4～5日	松山市:愛媛県県民文化会館	しまなみ海道発—21世紀へつなぐ医と食—	一色保子
第20回	平成13年3月3～4日	福島市:福島県文化センター	うつくしま 21世紀の提言 —医と食を考える—	中村啓子
第21回	平成14年3月2～3日	福岡市:アクロス福岡 シンフォニーホール	筑紫の国から輝く未来へ —医・食・癒—「よか」学会	秀平キヨミ
第22回	平成15年3月1～2日	岐阜市:長良川国際会議場	飛びたとう輝く未来へ・医と食 —日本の真ん中岐阜から—	長江きぬ子
第23回	平成16年2月28～29日	大阪市:大阪国際会議場	水の都「大阪」食の街「なにわ」 —医と食の新しい未来を目指して—	前田浩史
第24回	平成17年2月26～27日	別府市:ビーコンプラザ	あったか別府 医と食も…豊の国より	土谷洋子
第25回	平成18年2月25～26日	横浜市: パシフィコ横浜会議センター	浪漫漂う『港』食を楽しむ『横浜』 —みなとみらいから医と栄養士の未来を招け!—	梅澤真由美
第26回	平成19年3月3～4日	盛岡市:盛岡市民文化ホール	医と食のイーハトーヴをめざして —光と風の国 岩手から発進—	平澤郁子
第27回	平成20年3月8～9日	倉敷市:川崎医療福祉大学	語ろう医と食の共生! 晴れの国岡山で	河原和枝
第28回	平成21年3月7～8日	水戸市: 茨城県立県民文化センター	医と食の新時代 —梅の郷 水戸からのメッセージ—	石川祐一

第29回	平成22年3月6～7日	宮崎市:フェニックス・シーガイア・リゾートワールドコンベンションセンターサミット	どげんかせんといかん！医を活かし 命育む食に集う ―神話の国宮崎―	吉田祥子
第30回 (中止)	平成23年3月12～13日	金沢市:石川県立音楽堂	医食従 集学による予防と治癒の探究 ―心技体の継承 加賀百万石・金沢―	中川明彦
第31回	平成24年3月10～11日	豊島区:沖永記念ホール 帝京平成大学	すべての患者の栄養管理の充実を目指 して―チーム医療の一員としての力を 発揮しよう―	石川祐一
第32回	平成25年3月6～7日	佐久郡軽井沢町:軽井沢プリ ンスホテル ウェスト メインバ ンケットホール長野	いのちに寄り添う―急性期から慢性期・ 在宅までの栄養管理―	馬島園子
第33回	平成26年3月8～9日	長崎市:長崎ブリックホール	西洋医学発祥の地長崎から―栄養士が 発信する 食とこころ―	篠崎彰子
第34回	平成27年3月28～29日	仙台市:仙台国際センター	ありがとう 伊達の国から新たな一歩	南 文子
第35回	平成28年3月5～6日	名古屋市:愛知県産業労働 センター・ウインクあいち	未来に向けた医と食の創造―人・まち・ 自然がつながる交流・創造都市 愛知 からの発信―	市江美津昭
第36回	平成29年3月4～5日	高知市:高知市文化プラザか るぽーと	維新の道・志国高知で医と食を語ろう ―高知家からの発信ぜよ―	新谷美智

◎病院栄養管理セミナー年表

回 次	開催期間	開催場所	テーマ
第1回	(東)昭和 60 年 9 月 27 日・28 日 (西)昭和 60 年 8 月 30 日・31 日	神奈川県・箱根ホテル小涌園 京都市・京都エミナース	
第2回	(東)昭和 61 年 8 月 23 日・24 日 (西)昭和 61 年 9 月 27 日・28 日	盛岡市・愛真館 福岡市・ホテルステーションプラザ	
第3回	(東)昭和 62 年 9 月 26 日・27 日 (西)昭和 62 年 8 月 22 日・23 日	東 京・サテライトホテル後樂園 箕面市・箕面観光ホテル	病院栄養管理コストコントロール、メニュー選択の新しい方法
第4回	(東)昭和 63 年 8 月 27 日・28 日 (西)昭和 63 年 9 月 24 日・25 日	東 京・サテライトホテル後樂園 京都市・京都エミナース	これからの病院栄養管理と 基準給食
第5回	(東)平成元年 9 月 9 日・10 日 (西)平成元年 8 月 26 日・27 日	東 京・お茶の水コミュニティハウス 京都市・京都エミナース	病院栄養管理のシステム化を 考えよう
第6回	(東)平成 2 年 12 月 8 日・9 日 (西)平成 2 年 8 月 25 日・26 日	仙台市・宮城自治労会館 京都市・京都エミナース	新しい患者給食に対応する ためセミナー -病院給食はどう変わるか-
第7回	平成 3 年 8 月 24 日・25 日	京都市・京都エミナース	行政改革と病院栄養管理の ゆくえ
第8回	(東)平成 4 年 9 月 13 日 (西)平成 4 年 9 月 6 日	東 京・日本健康・栄養会館 福岡市・三和化学研究所福岡メディカルホール	特別管理給食加算をめぐる -特に適温管理について-
第9回	(東)平成 5 年 9 月 29 日 (西)平成 5 年 9 月 18 日	東 京・東京厚生年金会館 神戸市・神戸国際会議場	入院栄養食事指導料の獲得 -生き残る鍵は病棟進出と 臨床栄養指導-
第10回	(東)平成 6 年 10 月 14 日 (西)平成 6 年 10 月 7 日	東 京・全社連会館 岡山市・オルガホール	社会保険診療報酬改正に ついて
第11回	(東)平成 7 年 9 月 29 日 (西)平成 7 年 9 月 22 日	新潟市・メルパルク新潟 福岡市・三和化学研究所福岡メディカルホール	栄養食事指導の充実を 目指して
第12回	(東)平成 8 年 9 月 14 日 (西)平成 8 年 9 月 7 日	福島市・福島県青少年会館 大阪市・あべのメディックス	栄養指導記録の書き方
第13回	(東)平成 9 年 9 月 20 日 (西)平成 9 年 9 月 27 日	浦和市・埼玉県県民健康センター 広島市・広島県立生涯学習センター	病院栄養管理の実際
第14回	(東)平成 10 年 9 月 19 日 (西)平成 10 年 9 月 12 日	横浜市・神奈川県立かながわ労働プラザ 神戸市・兵庫県民会館	病院フードサービス マネージメント
第15回	(東)平成 11 年 9 月 18 日 (西)平成 11 年 9 月 25 日	仙台市・仙台市福祉プラザ 高知市・高知電気ビル	効果的な栄養指導の実際

◎臨床栄養学術セミナー年表

回 次	開催期間	開催場所	テーマ
第1回	(東)昭和62年1月31日・2月1日 (西)昭和62年6月20日・21日	東 京・日本栄養会館 京都市・京都大学楽友会館	心臓病のすべて
第2回	(東)昭和62年11月14日・15日 (西)昭和63年4月30日・5月1日	東 京・池袋センターシティホテル 大阪市・富士通関西システムラボラトリー	栄養アセスメントについて
第3回	昭和63年11月26日・27日	東 京・東京医科歯科大学	栄養指導のすべてがわかるセミナー
第4回	平成元年11月18日・19日	東 京・日本ユニシス株式会社 東京ベイ開発センター	新しい学術的話題に対するセミナー ー栄養所要量と栄養管理ー
第5回	平成2年11月17日・18日	神戸市・神戸製鋼所 健康保険組合中央体育館	腎疾患のすべて
第6回	平成3年11月23日・24日	静岡市・静岡県立中央図書館	肝臓のすべて
第7回	平成4年11月14日・15日	東 京・東京女子医科大学 第一臨床講堂	肥満のすべて
第8回	平成5年11月13日・14日	東 京・東京女子医科大学 第一臨床講堂	いま、なぜアレルギーか
第9回	平成6年12月3日・4日	宇都宮市・栃木県 総合文化センター栃木会館	糖尿病のすべて
第10回	平成7年11月11日・12日	東 京・国立国際医療センター内 国際医療局5階大会議室	骨粗鬆症のすべて
第11回	平成8年11月16日・17日	名古屋市・愛知県産業貿易館 西館大会議場	高脂血症のすべて
第12回	平成9年11月29日・30日	浜松市・アクシティ浜松41会議室	消化器のすべてー胃・腸ー
第13回	平成10年11月14日・15日	三島市・東レ総合研修センター	腎臓のすべて
第14回	平成11年12月4日・5日	豊中市・千里ライフサイエンスセンター	栄養指導に役に立つ臨床 検査データの見方
第15回	平成13年12月8日・9日	東 京・国立国際医療センター 国際医療局5階大会議室	がん治療の最前線 ーがん患者の栄養障害、その管理ー
第16回	平成14年11月30日・12月1日	広島市・中国電力(株)本社大講堂	高齢者の栄養管理
第17回	平成15年10月18日・19日	金沢市・北國新聞会館	糖尿病の治療 ー食事療法と薬物療法ー
第18回	平成16年10月9日・10日	東 京・女子栄養大学駒込校舎	小児栄養
第19回	平成17年7月23日	大阪市・大阪リバーサイドホテル	周産期の栄養
第20回	平成18年11月18日	東 京・共立女子大学	肥満の新しい臨床
第21回	平成19年10月6日・7日	福岡市・福岡県看護教育研修センター	栄養生化学と臨床
第22回	平成20年11月16日	大阪市・大手前栄養学院専門学校	CKD(慢性腎臓病)診療ガイド
第23回	平成21年10月3日	仙台市・フォレスト仙台	低栄養の栄養管理 ～COPDと褥瘡について～
第24回	平成22年7月3日・4日	港区・東京慈恵会医科大学	糖尿病治療～最新の話～
第25回	平成23年7月9日・10日	文京区・東京医科歯科大学	周術期の栄養管理～消化器がんを中心に～

回 次	開催期間	開催場所	テーマ
第 26 回	平成 24 年 12 月 8 日	文京区・東京医科歯科大学	摂食・嚥下障害、在宅訪問栄養食事指導
第 27 回	平成 25 年 6 月 15 日	文京区・東京医科歯科大学	糖尿病食事療法について
第 28 回	平成 26 年 11 月 15 日	文京区・東京医科歯科大学	CKD(慢性腎臓病)を学ぶ
第 29 回	平成 27 年 6 月 27 日	京都市・キャンパスプラザ京都	糖尿病
第 30 回	平成 28 年 7 月 17 日	文京区・東京医科歯科大学	がんの栄養指導充実をめざして ～平成 28 年度診療報酬改定対応研修会～

◎病院栄養士マネジメントセミナー年表

回 次	開催期間	開催場所	テーマ
第 1 回	平成 15 年 6 月 21 日・22 日	札幌市・アパホテル札幌	病院栄養士マネジメントの意識改革
第 2 回	平成 16 年 7 月 3 日・4 日	広島市・広島県立生涯学習センター	業務運営の活性化とコスト・機能評価
第 3 回	平成 17 年 11 月 26 日・27 日	東京・東京グリーンホテル水道橋	栄養ケア・マネジメント
第 4 回	〈北海道・東北〉 平成 18 年 6 月 3 日	仙台市・艮陵会館	病院における栄養管理実施加算
	〈関東甲信越〉 平成 18 年 7 月 29 日	前橋市・群馬県民会館	〃
	〈京浜〉 平成 18 年 5 月 18 日	品川区・きゅりあん	〃
	〈東海・北陸〉 平成 18 年 6 月 11 日	名古屋市・ 東邦ガス今池ガスビルホール	〃
	〈近畿〉 平成 18 年 6 月 25 日	大阪市・大阪リバーサイドホテル	〃
	〈中国・四国〉 平成 18 年 5 月 21 日	岡山市・オルガホール	〃
	〈九州〉 平成 18 年 6 月 24 日	那覇市・沖縄県総合福祉センター	〃
第 5 回	〈大阪会場〉 平成 19 年 7 月 14 日	大阪市・大阪リバーサイドホテル	栄養管理実施加算の実際
	〈東京会場〉 平成 19 年 7 月 21 日	江東区・TFTビル	〃
第 6 回	平成 21 年 1 月 18 日	豊島区・女子栄養大学駒込校舎	栄養士に求められる管理能力
第 7 回	平成 21 年 7 月 11 日	京都市・京都テルサ	入院患者に対する栄養管理の 更なる充実を目指して

◎スキルアップセミナー年表

回 次	開催期間	開催場所	テーマ
平成 23 年度	平成 23 年 11 月 12 日	文京区・東京医科歯科大学	脂質異常症
平成 24 年度	平成 24 年 10 月 13 日・14 日	文京区・東京医科歯科大学	平成 24 年度診療報酬改定への対応

平成 25 年度	平成 25 年 11 月 16 日・17 日	千代田区・自治労会館	糖尿病を中心とした栄養指導
平成 26 年度	平成 26 年 11 月 15 日・16 日	文京区・東京医科歯科大学	感染管理、医療安全、災害対策
平成 27 年度	平成 27 年 12 月 12 日	福岡市・九州ビル	地域包括ケアシステムにおける医療・在宅連携のためのスキル習得講座
平成 28 年度	平成 28 年 10 月 23 日	神戸市・神戸国際会議場	低栄養を極める

政策課題への取り組み

◎平成 17 年度

1	管理栄養士の栄養管理に関する技術の評価に関すること ① 生活習慣病・栄養障害の重症化予防に関する研究の実施と文献収集 ② 栄養食事指導技術料に関する調査と解析 ③ 入院患者に対する栄養管理に関する調査と解析 ④ 新しい業務の開拓に関する調査と解析
2	入院時食事療養費に関すること ① 病院食管理に対する技術の調査と解析

◎平成 18 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 栄養部門の実態に関する調査と解析 ② 医療保険制度の改正に対応した研修会の実施
2	管理栄養士の栄養食事指導の有用性に関すること ① 疾病別の栄養食事指導内容の標準化を目指した調査と記録フォーマットの作成

◎平成 19 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 新設栄養管理実施加算（診療報酬点数）に関する調査
2	管理栄養士の栄養食事指導の有用性に関すること ① 栄養食事指導を効果的に行うための研究 （疾患別栄養食事指導内容の標準化と記録フォーマットの作成）

◎平成 20 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 栄養部門の実態に関する調査と解析 ② 平成 22 年度社会保険診療報酬点数要望に関する調査
---	--

◎平成 21 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 平成 22 年度社会保険診療報酬点数要望に関する調査（継続）
2	管理栄養士の栄養食事指導の有用性に関すること ① 標準化された栄養食事指導の有用性に関する調査研究

◎平成 22 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 栄養部門の実態に関する調査と解析
2	管理栄養士の栄養食事指導の有用性に関すること ① 栄養食事指導が効果的であることを証明する研究(継続) (『栄養食事指導マニュアル～平成 19 年度政策経費事業』を使用した研究)

◎平成 23 年度

1	管理栄養士の栄養食事指導の有用性に関すること ① チーム医療推進における管理栄養士の関わりの重要性及び病棟への管理栄養士の適正配置に関する調査研究」
---	---

◎平成 24 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 栄養部門実態調査 管理栄養士の栄養食事指導の有用性に関すること ① チーム医療推進における管理栄養士の関わりの重要性及び病棟への管理栄養士の適正配置に関する調査研究
---	--

◎平成 25 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 嚥下対応食(嚥下調整食)に関するアンケート調査 ② 医療 慢性閉塞性肺疾患(COPD)に関する論文検索
---	--

◎平成 26 年度

1	医療制度改革への対応に関すること ① 栄養部門実態調査
---	--------------------------------

◎平成 28 年度

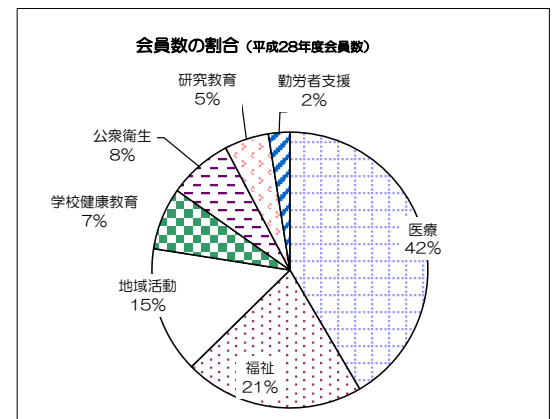
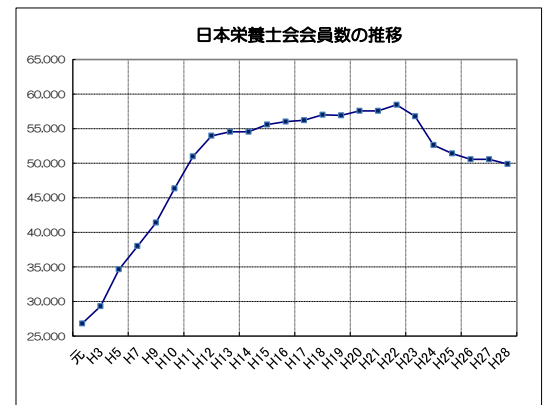
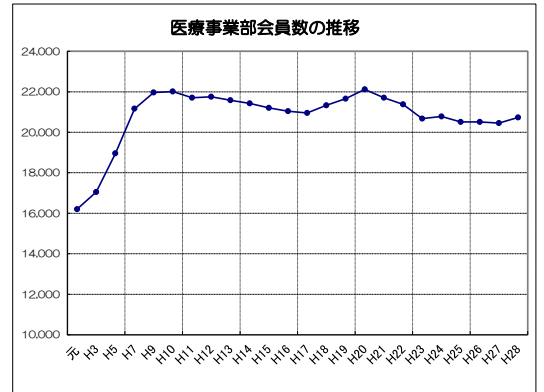
1	医療制度改革への対応に関すること ① 栄養部門実態調査・追加調査
---	-------------------------------------

医療事業部会員数の推移

	昭和 60年度	昭和 61年度	昭和 62年度	昭和 63年度	平成 元年度	平成 2年度	平成 3年度	平成 4年度	平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度
北海道	848	916	995	1,016	1,033	1,044	1,094	1,144	1,171	1,246	1,272	1,320	1,312	1,271	1,253	1,258	1,263	1,274	1,215	1,212
青森	180	179	186	188	180	186	193	185	188	201	196	190	202	187	187	191	200	190	204	203
岩手	184	190	188	196	218	239	230	227	241	241	259	252	249	250	254	261	273	270	258	259
宮城	226	237	257	257	260	248	258	241	257	259	288	295	304	308	304	326	329	333	330	329
秋田	177	185	186	199	201	196	206	196	203	208	219	220	222	225	225	234	235	232	220	226
山形	117	130	131	145	141	144	142	144	154	164	172	176	185	179	194	200	207	208	199	210
福島	298	289	287	298	309	317	312	323	362	351	374	372	366	347	348	355	363	353	347	337
茨城	213	239	264	280	305	332	347	359	377	382	397	410	413	433	419	433	431	422	424	421
栃木	105	123	127	151	140	146	163	194	217	229	291	354	360	333	335	331	328	320	315	303
群馬	247	255	303	336	342	347	353	359	409	455	430	424	424	389	386	368	357	334	342	347
埼玉	278	298	330	366	385	411	440	472	517	591	623	658	671	662	607	608	592	602	598	602
千葉	338	354	362	403	441	423	426	439	505	533	590	609	626	610	576	564	549	549	553	530
東京	790	826	873	960	1,036	1,092	1,147	1,215	1,341	1,458	1,542	1,643	1,669	1,674	1,720	1,743	1,734	1,727	1,698	1,693
神奈川	542	570	617	653	691	706	721	750	816	857	902	896	929	968	932	942	942	905	909	904
新潟	265	263	288	304	316	334	345	358	369	375	394	395	402	405	394	403	377	370	368	368
富山	147	156	162	174	201	203	206	209	236	242	251	249	251	262	268	268	266	265	253	268
石川	190	233	243	256	255	263	250	268	272	305	316	316	315	313	317	326	312	314	292	295
福井	152	155	166	176	188	206	210	218	221	231	246	264	269	264	260	265	270	250	256	264
山梨	99	102	112	117	122	128	138	139	153	162	158	160	154	167	170	162	165	163	166	168
長野	325	341	351	354	337	345	350	372	381	392	420	430	430	435	450	430	436	412	426	433
岐阜	171	203	206	239	236	235	242	245	236	252	296	305	302	311	291	284	290	310	308	313
静岡	305	328	351	349	355	369	406	451	484	501	523	546	568	577	577	609	608	591	551	540
愛知	522	577	610	632	645	657	665	716	759	809	841	822	788	792	753	743	706	711	712	694
三重	202	211	212	238	241	239	241	243	251	253	266	274	272	276	254	254	241	243	232	234
滋賀	91	102	106	114	118	112	111	124	142	139	141	156	157	161	152	150	148	149	155	159
京都	252	283	308	321	331	351	363	409	396	425	443	414	415	399	385	358	348	350	347	342
大阪	701	719	762	864	899	933	991	1,081	1,127	1,195	1,237	1,237	1,285	1,291	1,263	1,241	1,238	1,252	1,227	1,220
兵庫	505	537	573	591	644	610	587	636	652	688	712	721	720	695	718	715	670	646	639	638
奈良	109	119	129	132	144	147	140	154	155	170	177	190	187	182	188	184	182	183	180	179
和歌山	153	157	153	154	166	172	182	192	186	205	213	216	205	213	206	205	195	189	185	192
鳥取	96	105	108	114	121	119	116	126	135	141	156	148	142	135	131	138	125	126	123	123
島根	102	110	112	114	125	134	128	132	142	149	163	169	175	180	191	194	190	182	195	189
岡山	418	453	483	501	514	532	535	585	617	629	660	665	698	698	725	740	684	655	658	643
広島	236	246	265	275	326	357	400	435	484	497	532	572	582	588	596	588	608	614	612	608
山口	252	261	275	266	298	308	318	326	331	345	364	376	385	388	394	391	373	375	370	380
徳島	105	121	122	126	135	143	136	160	163	170	179	198	191	194	181	195	199	201	188	189
香川	193	198	209	218	219	214	212	216	223	230	251	257	259	246	260	268	273	285	277	275
愛媛	198	207	235	256	271	311	300	321	320	343	400	411	414	415	401	399	409	407	415	409
高知	177	226	239	236	246	267	255	259	285	285	298	289	284	287	286	285	297	287	284	279
福岡	674	740	832	895	930	986	968	987	1,034	1,136	1,187	1,193	1,245	1,221	1,217	1,246	1,295	1,323	1,364	1,337
佐賀	214	225	237	223	244	276	278	289	297	305	318	338	337	321	319	316	311	309	282	272
長崎	234	248	270	295	303	314	329	346	349	371	388	427	422	454	453	461	453	462	445	417
熊本	382	467	490	503	494	524	489	496	526	557	627	624	577	621	588	581	591	567	605	590
大分	205	218	224	231	225	227	244	261	275	298	339	361	354	365	357	366	363	367	346	355
宮崎	213	213	205	222	238	250	245	268	292	281	290	298	294	317	344	353	355	346	332	325
鹿児島	473	476	491	520	545	532	532	556	577	616	667	735	784	822	701	637	600	583	561	553
沖縄	57	61	76	93	90	126	106	127	122	140	151	160	170	179	175	183	199	220	237	214
合計	12,961	13,852	14,711	15,551	16,204	16,755	17,050	17,953	18,950	20,012	21,159	21,735	21,965	22,010	21,705	21,752	21,580	21,426	21,203	21,041
対前年度増減	717	891	859	840	653	551	295	903	997	1,062	1,147	576	230	45	△ 305	47	△ 172	△ 154	△ 223	△ 162
対前年度増減%	5.9	6.9	6.2	5.7	4.2	3.4	1.8	5.3	5.6	5.6	5.7	2.7	1.1	0.2	-1.4	0.2	-0.8	-0.7	-1.1	-0.8
日栄計	29,311	32,369	34,641	36,541	38,003	39,843	41,402	43,565	46,332	48,681	50,981	52,743	53,956	54,581	54,537	55,595	56,024	56,211	56,994	56,922

医療事業部会員数の推移

	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	対27年度 比較増減
北海道	1,279	1,275	1,295	1,274	1,276	1,259	1,229	1,197	1,140	1,167	1,169	1,202	33
青森	210	213	219	223	231	221	218	217	209	225	225	232	7
岩手	249	255	254	240	236	232	225	239	240	235	240	246	6
宮城	331	346	365	390	373	369	304	358	353	344	333	337	4
秋田	219	225	217	230	223	235	225	220	217	209	210	210	0
山形	203	182	199	211	223	213	214	224	211	210	213	225	12
福島	340	341	334	347	336	318	258	277	284	283	291	290	△ 1
茨城	416	433	455	444	428	419	390	393	408	415	410	402	△ 8
栃木	319	325	313	311	303	285	271	270	274	287	286	283	△ 3
群馬	337	351	352	361	358	366	364	371	376	367	377	387	10
埼玉	601	593	623	622	598	564	548	552	556	566	535	530	△ 5
千葉	514	501	505	532	521	521	522	502	505	498	511	508	△ 3
東京	1,675	1,700	1,724	1,812	1,730	1,656	1,600	1,626	1,601	1,586	1,594	1,642	48
神奈川	859	851	928	974	927	907	850	834	842	880	875	898	23
新潟	353	368	380	386	383	382	361	358	358	360	368	377	9
富山	271	278	280	267	284	277	275	285	283	302	312	298	△ 14
石川	259	277	274	291	275	286	291	291	274	283	293	297	4
福井	261	270	268	271	251	255	252	273	282	280	265	261	△ 4
山梨	166	160	161	157	174	174	174	175	154	146	148	157	9
長野	429	431	459	466	467	456	455	452	442	427	435	443	8
岐阜	300	286	296	316	310	320	310	320	312	308	326	328	2
静岡	529	552	566	591	579	561	526	516	511	519	523	517	△ 6
愛知	677	729	740	783	795	823	811	824	848	862	862	883	21
三重	237	223	228	232	242	246	236	231	219	214	218	230	12
滋賀	154	158	162	158	178	175	183	181	191	189	180	184	4
京都	370	393	400	393	383	363	355	367	363	383	383	391	8
大阪	1,279	1,316	1,305	1,380	1,319	1,297	1,232	1,253	1,249	1,258	1,270	1,261	△ 9
兵庫	630	629	663	712	653	640	617	611	589	554	560	553	△ 7
奈良	189	194	197	195	190	182	185	182	176	174	168	163	△ 5
和歌山	174	177	185	176	177	180	162	165	152	154	149	150	1
鳥取	122	117	118	119	116	114	103	102	97	98	93	94	1
島根	188	194	197	198	197	194	184	186	198	189	190	192	2
岡山	665	656	671	687	679	691	671	647	654	639	629	643	14
広島	613	616	609	597	596	587	565	564	570	548	535	537	2
山口	375	383	394	409	408	401	383	385	369	381	368	384	16
徳島	199	195	208	216	201	199	205	200	191	189	197	209	12
香川	251	238	246	249	253	260	272	271	277	290	293	300	7
愛媛	421	433	443	434	437	446	406	415	400	407	396	377	△ 19
高知	290	311	315	311	294	282	267	284	266	271	253	257	4
福岡	1,281	1,309	1,294	1,297	1,288	1,275	1,245	1,255	1,312	1,339	1,344	1,383	39
佐賀	269	281	285	295	307	302	287	292	180	155	137	144	7
長崎	423	433	439	449	447	447	446	453	456	457	448	457	9
熊本	592	617	603	573	603	594	578	581	610	618	619	592	△ 27
大分	334	347	331	331	326	304	324	323	313	305	304	314	10
宮崎	334	368	348	371	384	353	348	332	260	174	149	180	31
鹿児島	549	588	577	590	565	532	535	529	538	549	564	576	12
沖縄	217	211	229	246	227	216	213	199	202	215	203	208	5
合計	20,953	21,329	21,654	22,117	21,753	21,378	20,675	20,782	20,512	20,509	20,451	20,732	281
対前年度増減	△ 88	376	325	463	△ 364	△ 375	△ 703	107	△ 270	△ 3	△ 58	281	
対前年度増減%	-0.4	1.8	1.5	2.1	-1.7	-1.8	-3.4	0.5	-1.3	0.0	-0.3	1.4	
日累計	57,557	57,572	57,685	58,452	56,941	55,359	53,288	52,634	51,420	50,566	50,564	49,890	



編集後記

平成 28 年度の医療事業部のしおり改め「UP to DATE」をお届けします。年度内にホームページに掲載できませんでしたことを深くお詫びいたします。平成 25 年 3 月から学会のガイドラインを抜粋したものを作成し、その後は新規ガイドラインの抜粋とともに更新される部分の差し替えを行ってまいりました。会員の皆様からも高いご評価をいただいております。今回はホームページ掲載を利用して URL を掲載し、すぐにガイドラインのページを閲覧できるよう工夫しました。また、日本外科代謝栄養学会の ESSENSE の抜粋を掲載計画でしたが学会の認可が下りず、図書の紹介とさせていただきましたことご了承をお願いいたします。今後も価値あるものを掲載できるように努力してまいります。皆様のお仕事にお役立ていただけましたら嬉しく思います。

編集委員：医療事業部 事業ワーキング

原純也、渡辺啓子、中川幸恵、宮崎純一、藤井文子、石井宏明、藤井信也、岡本康子、
須永将弘、小林貴子、井上小百合、篠田和典、尾田文代、西村智子、市川和子、中村佳子
編集責任者：医療事業部企画運営委員長 石川祐一